

INFORMATION RELEASE

ミサワホーム株式会社 〒163-0833 東京都新宿区西新宿 2-4-1 Tel. 03(3349)8088 (広報直通)

2017年6月28日

2017年度 ミサワホーム CSR レポート

『HEARTH』を発行

- 各ステークホルダー^{*1}や重要な社会課題に対する取り組みをテーマ別に紹介
- 環境行動計画「SUSTAINABLE 2020」に基づく環境活動や成果を報告
- 国際保証業務基準に準拠した第三者保証を5年連続で取得
- 国際的なCSRレポートのガイドラインである「GRI^{*2}スタンダード」に対応

ミサワホーム株式会社（代表取締役社長執行役員 竹中宣雄）は、CSR（企業の社会的責任）に関する2016年度の取り組みとその成果をステークホルダーの方々に報告する2017年度CSRレポート『HEARTH』を発行します。

ミサワホームは1999年に住宅業界初の「環境活動報告書」を作成し、環境マネジメントシステムの運用実績を中心に毎年報告を続けてきました。2007年度からは社会的側面の活動報告を加えたCSRレポートとし、今回が11回目の発行となります。

本レポートの名称である「HEARTH」は、「HEART（心）」と「EARTH（地球）」を一体化した言葉です。「HEART」は深く信頼されるミサワホームを、「EARTH」は地球にやさしいミサワホームを表し、CSR推進活動のテーマとしています。

今回のレポートでは、国際的なCSRレポートのガイドラインである「GRIスタンダード（2016年10月19日発行）」にいち早く対応したほか、社会を取り巻くさまざまな課題の中でミサワホームが重点的に取り組むべき項目について、2016年度に実施した活動をテーマ別に詳しく「HEARTH AT WORK」にて紹介しています。

なお、情報の信頼性及び透明性向上の観点から、EY 新日本サステナビリティ株式会社（本社 東京都千代田区／代表取締役 塚原正彦）より、「マテリアル&エネルギーフロー」（P49～P50）に記載のある重要なサステナビリティ情報に対して国際保証業務基準（ISAE）3000及び3410等に準拠した第三者保証を5年連続で取得しています。

ミサワホームグループでは、今後も内容を充実させたCSRレポートを作成し、さまざまなステークホルダーの方々とのコミュニケーションの充実を図り、よりレベルの高いCSR活動を推進していきます。

※1 行動指針で定めるステークホルダー：お客さま（消費者）、従業員、取引先、株主（投資家）、社会・環境

※2 Global Reporting Initiative：「持続可能性報告書」のガイドラインを提唱するNPO（非営利団体）

■CSR レポートの構成

【ABOUT US】(P3・4)

ミサワホームグループの概要を紹介しています。

【MANAGEMENT】(P5～P16)

トップコミットメントや新中期経営計画などの会社方針、財務・非財務情報および CSR 経営について紹介しています。財務・非財務情報はグラフを用いて見える化し、CSR 経営に関しては CSR 重点指標の達成状況と各ステークホルダーとのコミュニケーションをステークホルダーエンゲージメントとして紹介しています。また、ミサワホームグループが 2016 年度から 2020 年度までに達成すべき環境目標を定めた環境行動計画「SUSTAINABLE2020」や ZEH 普及目標を年度別に定めた「ZEH ロードマップ」も紹介しています。

【HEARTH AT WORK】(P17～P42)

社会を取り巻くさまざまな課題の中でミサワホームが重点的に取り組むべき項目について、2016 年度に実施した活動をテーマ別に詳しく紹介しています。

① 安全・安心な住まいづくり

自然災害への備えは、安全・安心な住まいづくりの重要な要素です。ミサワホームでは、独自の防災・減災ソリューション「^{ミサワエルシビー}MISAWA-LCP」を住宅設計に組み込んでいます。また、お客様が被災された場合のサポート体制や長期保証制度の整備、業界最高水準の建物性能を実現する新構法「センチュリーモノコック」の開発など、ご家族の安全・安心を考えた取組みを紹介しています。

② 低炭素で循環型の住まいづくり・まちづくり

自然の力を有効に活用する先進的な技術の開発により、より少ないエネルギーで快適さをもたらす住まいや、貴重な天然資源を有効に活用した住まいづくりに関する取組みを紹介しています。ミサワホームが展開するスマートシティなど、未来へつなぐまちづくりの実績についても紹介しています。

③ 事業活動の環境負荷低減

事業活動のすべての段階において環境負荷を削減するよう取り組んでいます。省エネルギー、CO₂ 排出削減、省資源、廃棄物削減、化学物質管理など、工場での生産、輸送、建設といった生産活動から事務所活動に至るまでの環境推進活動を紹介しています。事務所における「省資源化」への取組みは、20 年間継続して行っており、社員一人ひとりの意識向上にもつながっています。

④ 少子・高齢化社会を支える

少子・高齢化は、日本が直面する最大の社会課題のひとつです。都心部での多世帯同居型の住まい提案をした重量鉄骨造の中層商品「URBAN CENTURY」など少子化に対し子育て環境の改善につながるデザインの提案や学童保育施設の運営、長野県で総合監修している「病院移転計画」をはじめとした高齢者の健康寿命に役立つ住まい・施設を目指した取組みを紹介しています。

⑤ お客さま満足度の向上

新築からアスターサービス、メンテナンス、リフォーム、売却・賃貸管理を含めた不動産サポートまで、住まいのライフサイクル全体をサポートする「住まいるりんぐシステム」や住まいの価値を高める様々な取組みを紹介しています。共働き世帯の増加やインターネット通販市場の拡大により宅配業者の人手不足が深刻な社会問題化していることを受け、オーナーさまの快適な暮らしをサポートする業界初の「玄関一体型宅配ボックス」を開発しました。

⑥ 労働環境の整備

社員一人ひとりが安心して、モチベーション高く仕事に従事でき、その能力を発揮して活躍できるように、労働環境の整備を進めています。「ダイバーシティ」や「ワークライフバランス」などへの取り組みを紹介しています。2016年度は育児休業者取得数や女性管理職比率、障害者雇用率などが良化しました。

⑦ 社会貢献活動

教育・科学・文化活動や、森林保全を中心分野として、継続性・一貫性を大切にして取り組んでいる社会貢献活動を紹介しています。全国の学校生活協同組合や教育関連団体と連携し、大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立極地研究所の協力のもと、南極地域観測隊に参加した社員らが講師となって行う教育支援プログラム「南極クラス」は、2011年の活動開始から延べ963校で開催し、受講者は11万人を超え、多くの生徒の皆さんに夢や希望、感動をお届けしています。

【GOVERNANCE】(P43～P47)

ミサワホームグループのCSR基本方針やコーポレートガバナンス、リスクマネジメント、コンプライアンスについて紹介しています。

【DATA】(P48～P54)

環境パフォーマンスや2016年度CSR指標実績、第三者保証報告書などをまとめて紹介しています。総CO2排出量は前年度比5.5%削減、工場生産段階で発生する廃棄物発生量は同29.4%削減など、様々な項目で良化がみられました。

■ CSR レポート概要

- ・名称：2017年度ミサワホームCSRレポート「HEARTH」
 - ・体裁：A4判 オールカラー 56ページ
 - ・対象組織：ミサワホーム株式会社、工場、ディーラーを含むミサワホームグループ
 - ・対象期間：2016年度（2016年4月1日～2017年3月31日）
 - ・必要に応じて2016年度以前及び2017年度以降の活動も記載しています。
 - ・配布先：お客様、取引先、株主、投資家、官公庁、NPO/NGO など
 - ・公開方法：WEBサイトにPDF版を掲載する他、希望者には無償配付
- GRI ガイドライン（GRIスタンダード）対照表はWEBサイトに掲載しています。
掲載 URL：www.misawa.co.jp/misawa/csr/

以上



この件に関するお問い合わせ先

ミサワホーム(株) 経営企画部 コーポレートコミュニケーション課

中田義規 佐野遥香

TEL : 03-3349-8088 / FAX : 03-5381-7838

E-Mail : Haruka_Sano@home.misawa.co.jp